事例No.	1986
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	長崎県長与町

事例区分	DX

タグ	・ICT ・消防・防災 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

町内のIoTセンサーネットワークの構築に向けた産学官連携

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

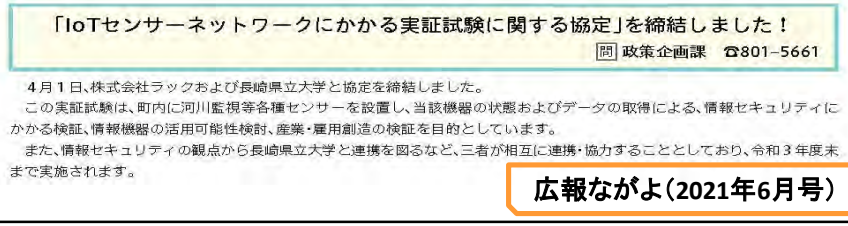
06 町内のIoTセンサーネットワークの構築に向けた産学官連携【長崎県長与町】

事業の概要

○　長与町は、令和3年4月に(株)ラックと長崎県立大学シーボルト校との間で、IoTセンサーネットワークにかかる実証試験に関する三者協定を締結した。

○　令和3年度は、町内６箇所にIoTセンサー(水位センサー、傾斜センサー等)を設置し、自然環境下での耐用性の検証や運用体制、技術的課題の抽出を行った。

○　長崎県立大学は、国内で初めて情報セキュリティの専門学科を設置した大学であり、情報セキュリティ分野の知見がある。また、(株)ラックは、SDGsやスマートシティ関する知見をもつ企業であり、セキュリティ分析サービスに係るノウハウを有しており、三者が連携し、地域のデジタル化を推進している。



「IoTセンサーネットワークにかかる実証試験に関する協定」を締結しました！

問 政策企画課　☎801-5661

4月１日、株式会社ラックおよび長崎県立大学と協定を締結しました。

この実証試験は、町内に河川監視等各種センサーを設置し、当該機器の状態およびデータの取得による、情報セキュリティにかかる検証、情報機器の活用可能性検討、産業・雇用創造の検証を目的としています。

また、情報セキュリティの観点から長崎県立大学と連携を図るなど、三者が相互に連携・協力することとしており、令和３年度末まで実施されます。

広報ながよ（2021年6月号）

【参考情報】 人口：4.1万人
関連URL：　ー

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）　取組の経緯・きっかけを教えてください。



（長与町）

本町は、大学と包括連携協定に基づく様々な事業を実施し、良好な関係を築いてきました。そのような折、長崎県より実証実験の場を探している企業がいると紹介を受け、大学からの助言を受けたうえで、本町のまちづくりに有意義であると判断し、実施に至りました。



事業の近況を教えてください。



自然環境下での可用性研究ということもあり、設置したセンサーの取替や、データの送受信がうまくいかない等の課題もありましたが、そういった課題も含め、有意義な検証であったと感じています。現在は、取得した経験やデータをどのように活かしていくか検討しているところです。

★担当：長与町企画財政部 政策企画課★

令和3年度事業費　0千円